

急増する認知症

早期診断・治療が重要

札幌宮の沢脳神経外科病院
丹羽 潤

厚生労働省の推計では、国内の認知症の人は約462万人。社会の高齢化に伴い急増する認知症は、今や誰もがなり得る、ありふれた病気（一般病）です。

ほかの病気と同じように、認知症も早期受診、早期診断、早期治療が非常に重要です。認知症の前段階といわれる軽度認知障害（MCI）や、症状が出始める前の超早期（プレクリニカル）。この段階から適切な治療や定期的な経過観察を受けることによつて得られる効果やメリットはたくさんあります。

例えば、MCIの段階での確な検査を行い、発症前から経過を観察することで、認知症への移行を遅らせるためのケアや治療が可能になります。また、症状が軽い早期の段階で認知症であることに気づき、早い時期から薬を使い始めれば、病気の進行を遅らせ「良い状態」を長く維持することができます。本人が病気を理解できる時点で受診することで、将来自分はこうしたいという意思を示すことや、将来の生活設計を家族と話し合うことができるのも早期診断の意義です。

多くの研究の結果、認知症の診断法も治療法も確実に進歩しています。診断が早期であればあるほど治療は有効ですので、病的な物忘れや物事への意欲の低下など、今までとは違う「変化」があったり、「もしかして…」と思ったら、躊躇せず身近な医療機関に相談することが大切です。



地下鉄東西線「宮の沢」駅 5番出口から徒歩4分

西区

■診療科目

脳神経外科・神経内科・整形外科
糖尿病内科・リハビリテーション科

■外来診療時間

月～金曜 9:00～12:00・13:00～17:00 土曜 9:00～12:00

24時間救急対応

脳ドックあり

明日佳グループ

札幌宮の沢脳神経外科病院

札幌市西区西町南20-1-30（旧国道5号沿い）

☎011-664-7111